公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ 東野校				
○保護者評価実施期間	2	2024年 12月 3日	~	2024年 12月 26日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	34	
○従業者評価実施期間	2	2024年 12月 2日	~	2024年 12月 14日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6	
○事業者向け自己評価表作成日	2	2025年 10月 6日			

## ○ 分析結果

		事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
			こどもが使用できる個別の部屋はないが、適宜、パーテーショ	
		められる環境になっているか 。	ンで仕切る等の工夫をしている。 	案を出し合いながら最適な環境作りをしていく。
	1			
F		  職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内	   研修を動画視聴にしているため、自分のタイミングで必要な動	法人内の研修を取りまとめる部署(まなびの扉)が中心とな
		等で研修を開催する機会が確保されているか。	画の視聴ができる。	り、経験年数に関わらず学びを深めていけるよう、今後も取
	2			り組んでいく。
	_			
L		VEL	#!   #	
		活動プログラムの立案をチームで行っているか。 	集団療育のプログラムは毎回関係スタッフ間で話し合いを設けている。 みんなで意見を出し合っている。	リーダーのみならす、他スタップも意見を出し合って立案で きるよう、効率よく時間を確保していく。
			といる。 かんな と思見を山し口 り といる。 	さるよう、刈半よく時间を唯休していく。
	3			

		事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
ſ		児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行	担当者会議で大まかな内容は共有しているが、作成した個別支	関わるスタッフが意識的に計画を確認し、ねらいを共有する
		われているか。	援計画を関係職員間で共有せず、個人に任されている部分が大	よう、今後より意識を高めていく。
	1		きい。	
	-			
1		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ	出来る限りのことはしているが広報はもっと手厚く運営してい	外部に対しての発信は今まさに充実させている現状。現在の
		とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや	くべき。	利用者に向けて、発信内容をアピールしていくことができた
	2	保護者に対して発信しているか		らよい。
	-			
	3			